

平成 2 5 年

青森県海面漁業に関する調査結果書

(属地調査年報)

青森県農林水産部

は し が き

青森県海面漁業に関する調査は、青森県統計調査条例に基づき22市町村を対象に毎月実施しているものです。

このたび、平成25年の本県における海面漁業の実態を魚種別、漁業種類別及び市町村別に、漁獲数量、漁獲金額について属地ベースでとりまとめましたので、結果書（年報）として公表します。

この結果書が水産行政のみならず広く一般に活用され、今後の本県における水産業振興上の基礎資料として役立てば幸いです。

おわりに、この調査の実施に際し、ご協力をいただきました関係各位に対し心から感謝を申し上げます。

平成26年3月

青森県農林水産部長 一戸 治孝

目 次

調査の要領	1
-------	---

結果の概要	2
-------	---

対前年比較表

第 1 表	魚種別漁獲数量・金額比較表（対前年比）	10
第 2 表	魚種別漁獲数量・金額比較表（対 5 カ年平均比）	12
第 3 表	月別漁獲数量比較表	14
第 4 表	月別漁獲金額比較表	14
第 5 表	分類別漁獲数量比較表	15
第 6 表	分類別漁獲金額比較表	15
第 7 表	主な魚種別漁獲数量比較表	16
第 8 表	主な魚種別漁獲金額比較表	17
第 9 表	漁業種類別漁獲数量比較表	18
第 10 表	漁業種類別漁獲金額比較表	19
第 11 表	市町村別漁獲数量比較表	20
第 12 表	市町村別漁獲金額比較表	21

県計表

第 1 表	年 総 括 表	22
第 2 表	月 別 表	36

市町村計表

第 1 表	魚種別漁獲数量及び漁獲金額	42
第 2 表	漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額	66
第 3 表	月別漁獲数量及び漁獲金額	71

調 査 の 要 領

1. 調査事項

- (1) 魚種別漁業種別漁獲数量
- (2) 魚種別漁業種別漁獲金額

2. 調査時期

毎 月

3. 調査範囲

本県内に水揚げされたすべての海面魚介類（運搬魚介類を除く。）

4. 調査方法

調査員が担当区域内の海面漁業協同組合、魚市場、その他の団体等を毎月巡回し、これらの団体等において作成した台帳等から資料を収集する方法

5. 利用上の注意

この調査は属地計上です。属地計上とは、生産物が水揚げされた地域に漁獲量等を計上することをいいます。

また、数値は四捨五入してあるので、各表や統計表中の構成比の和は100%にならない場合があります。

結果の概要

1. 漁獲数量及び漁獲金額

(1) 概況

平成 25 年の青森県の漁獲数量は 185,855 トン、漁獲金額は 446 億 5,987 万円となった。これを前年と比較すると漁獲数量で 41,652 トン (18.3%) 減少し、漁獲金額では 3 億 8,808 万円 (0.9%) 増加した。

(2) 主な増減要因

漁獲数量が前年と比較して減少した主な要因は、陸奥湾において前年夏季に発生した異常高水温及び平成 25 年 2 月から 3 月に発生したへい死等の影響により、「ほたてがい (半成貝)」の漁獲数量が大幅に減少したこと、また、「するめいか (近海・生/近海・船凍)」やペルー沖での操業ができなかった「あかい (海外)」の漁獲数量が大幅に減少したことによるものである。

漁獲金額が前年と比較して増加した主な要因は、「なまこ」や「さば」、「するめいか (近海・生/近海・船凍)」の単価が上昇したことによるものである。

(3) 過去 5 年間の平均との比較

過去 5 年間の平均と比較して、漁獲数量で 57,913 トン (23.8%) 減少し、漁獲金額では 46 億 5,488 万円 (9.4%) 減少した。

漁獲が好調であった魚種は「まいわし」(漁獲数量対平年比 236.8%)、「たら」(146.1%)、「すけとうたら」(139.8%)、「ぶり」(133.6%) 等であった。

一方、漁獲が低調であった魚種は「あかい (近海/海外)」(12.3%)、「ほたてがい (半成貝)」(46.1%)、「するめいか (近海・生)」(63.2%)、「ほたてがい (新貝/成貝)」(85.2%) 等であった。

(4) 過去 10 年間の平均との比較

平成 25 年の漁獲数量及び漁獲金額は、過去 10 年間の平均と比較すると数量で 80,120 トン (30.1%)、金額で 81 億 1,998 万円 (15.4%)、それぞれ下回っている (図 1、表)。

表 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

年次	漁 獲 数 量		漁 獲 金 額	
	数量(トン)	対前年増減率(%)	金額(百万円)	対前年増減率(%)
昭和63年	841,511		96,007	
平成5年	554,744		83,347	
平成10年	368,219		73,875	
平成15年	281,057		51,812	
平成16年	296,063	5.3	60,606	17.0
平成17年	289,662	△ 2.2	56,914	△ 6.1
平成18年	278,430	△ 3.9	54,675	△ 3.9
平成19年	295,695	6.2	57,217	4.6
平成20年	261,354	△ 11.6	53,171	△ 7.1
平成21年	289,027	10.6	51,187	△ 3.7
平成22年	246,690	△ 14.6	51,825	1.2
平成23年	194,265	△ 21.3	46,118	△ 11.0
平成24年	227,507	17.1	44,272	△ 4.0
平成25年	185,855	△ 18.3	44,660	0.9
平成15年～平成24年 までの平均 (A)	265,975		52,780	
平成25年／(A)%	69.9 %		84.6 %	

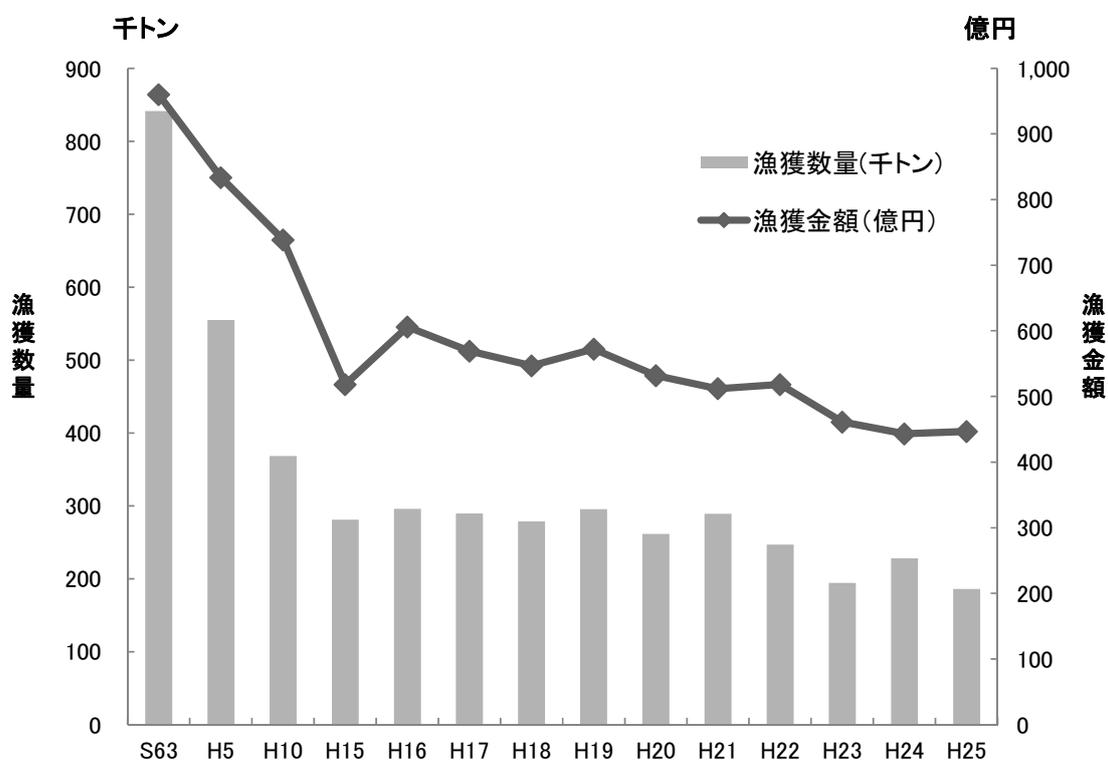


図1 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

2. 月別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 月別漁獲数量

平成 25 年の漁獲数量を月別にみると、9 月が 30,447 トンで最も多く全体の 16.4% を占め、次いで 10 月の 25,632 トン（13.8%）、8 月の 23,152 トン（12.5%）となっている（図 2、第 3 表）。

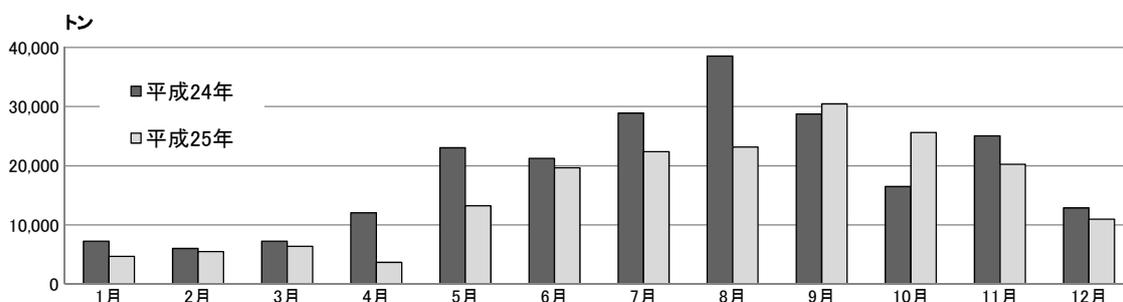


図 2 月別漁獲数量

(2) 月別漁獲金額

平成 25 年の漁獲金額を月別にみると、11 月が 65 億 7,318 万円で最も多く全体の 14.7% を占め、次いで 9 月の 54 億 9,114 万円（12.3%）、8 月の 53 億 9,927 万円（12.1%）となっている（図 3、第 4 表）。

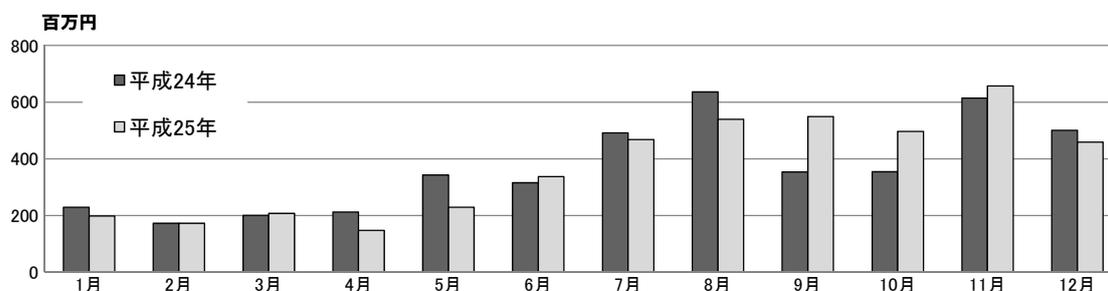


図 3 月別漁獲金額

3. 魚種別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 分類別漁獲数量及び漁獲金額

①分類別漁獲数量

漁獲数量について魚類、貝類等の分類別にみると、さば等の「魚類」が82,630 トンで最も多く全体の44.5%を占め、次いでほたてがい等の「貝類」53,111 トン(28.6%)、「その他の水産動物」47,610 トン(25.6%)、「藻類」2,504 トン(1.3%)の順となっている。

これを前年と比較すると、「魚類」は1,320 トン(1.6%)減少、「貝類」は23,784 トン(30.9%)減少、「その他の水産動物」は14,280 トン(23.1%)減少、「藻類」は2,267 トン(47.5%)減少した(図4、第5表)。

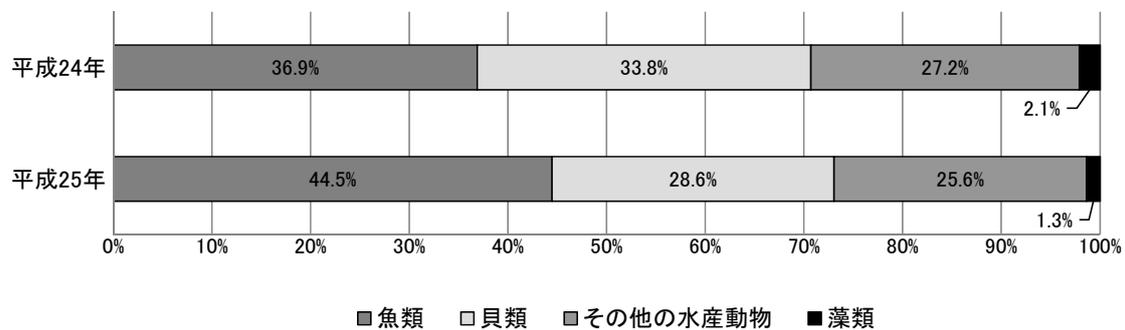


図4 分類別漁獲数量の構成比

②分類別漁獲金額

漁獲金額を分類別にみると、「その他の水産動物」が193億4,954万円で最も多く全体の43.3%を占め、次いで「魚類」162億9,930万円(36.5%)、「貝類」83億9,021万円(18.8%)、「藻類」6億2,082万円(1.4%)の順となっている。

これを前年と比較すると、「その他の水産動物」は9億2,387万円(5.0%)増加し、「魚類」は5億21万円(3.2%)増加し、「貝類」は5億2,035万円(5.8%)減少し、「藻類」は5億1,564万円(45.4%)減少した(図5、第6表)。

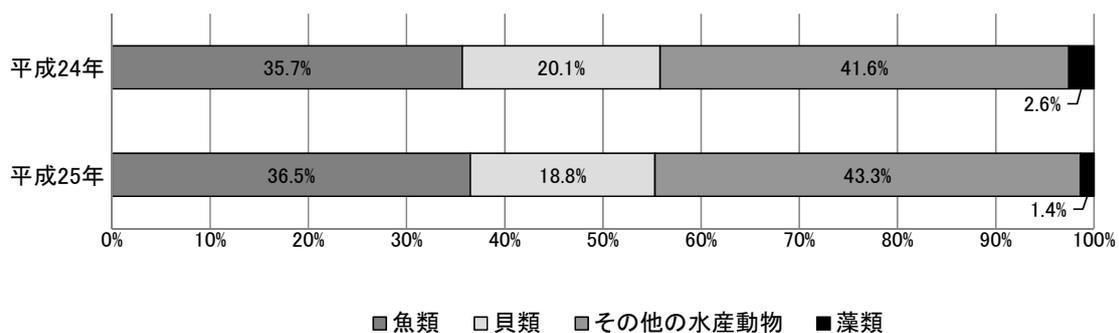


図5 分類別漁獲金額の構成比

(2) 主な魚種別漁獲数量及び漁獲金額

①主な魚種別漁獲数量

主な魚種別の漁獲数量及び構成比をみると、「ほたてがい」52,066トン（構成比28.0%）、「さば」42,109トン（22.7%）、「するめいか」40,008トン（21.5%）、「すけとうたら」6,482トン（3.5%）、「たら」6,235トン（3.4%）、「ぶり」6,133トン（3.3%）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な魚種及び増加数量は「たら」2,821トン（対前年増加率82.6%）、「すけとうたら」1,825トン（39.2%）、「さけ」914トン（25.3%）、「はたはた」588トン（281.8%）となっている。

一方、漁獲数量が減少した主な魚種及び減少数量は「ほたてがい」23,804トン（対前年減少率31.4%）「するめいか」9,777トン（19.6%）、「あかいか」4,851トン（68.8%）、「ぶり」3,837トン（38.5%）となっている（図6、第1表、第7表）。

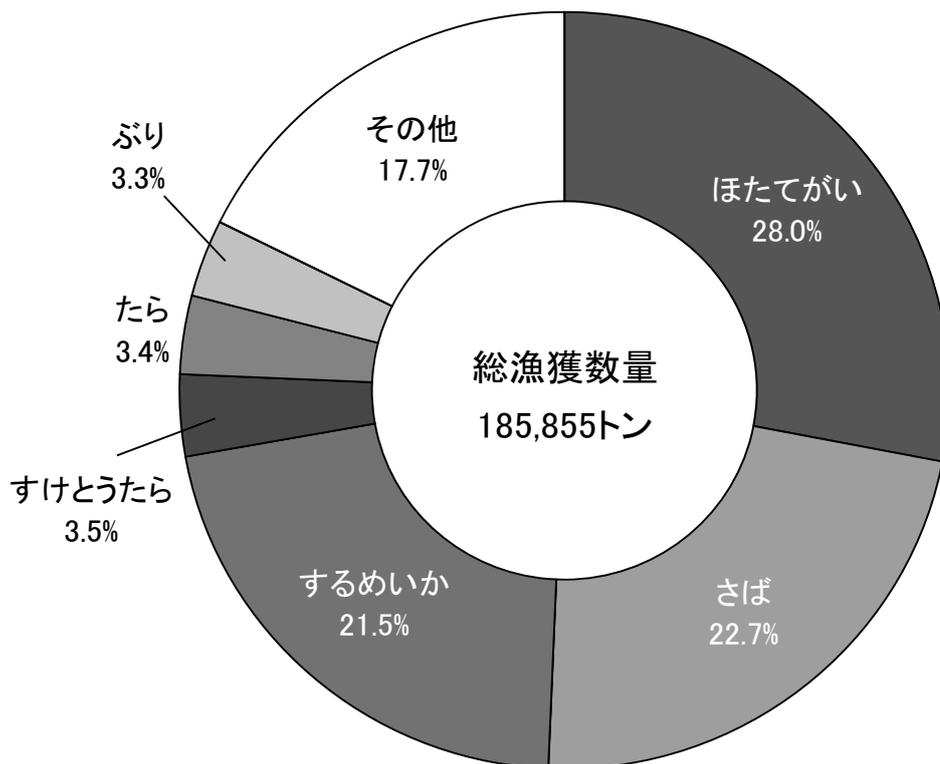


図6 主な魚種別漁獲数量の構成比

②主な魚種別漁獲金額

主な魚種別の漁獲金額及び構成比をみると、「するめいか」123億1,867万円（構成比27.6%）、「ほたてがい」77億5,150万円（17.4%）、「さば」48億8,199万円（10.9%）、「なまこ」37億5,658万円（8.4%）、「まぐろ」23億6,323万円（5.3%）、「さけ」14億8,342万円（3.3%）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な魚種及び増加金額は「なまこ」10億3,350万円（対前年増加率38.0%）、「さば」7億3,503万円（17.7%）、「するめいか」7億633万円（6.1%）、「たら」3億2,479万円（36.1%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な魚種及び減少金額は「あかいか」6億5,188万円（対前年減少率42.5%）、「ほたてがい」6億1,876万円（7.4%）、「ぶり」4億3,394万円（36.1%）、「うに」1億4,715万円（23.5%）などとなっている（図7、第1表、第8表）。

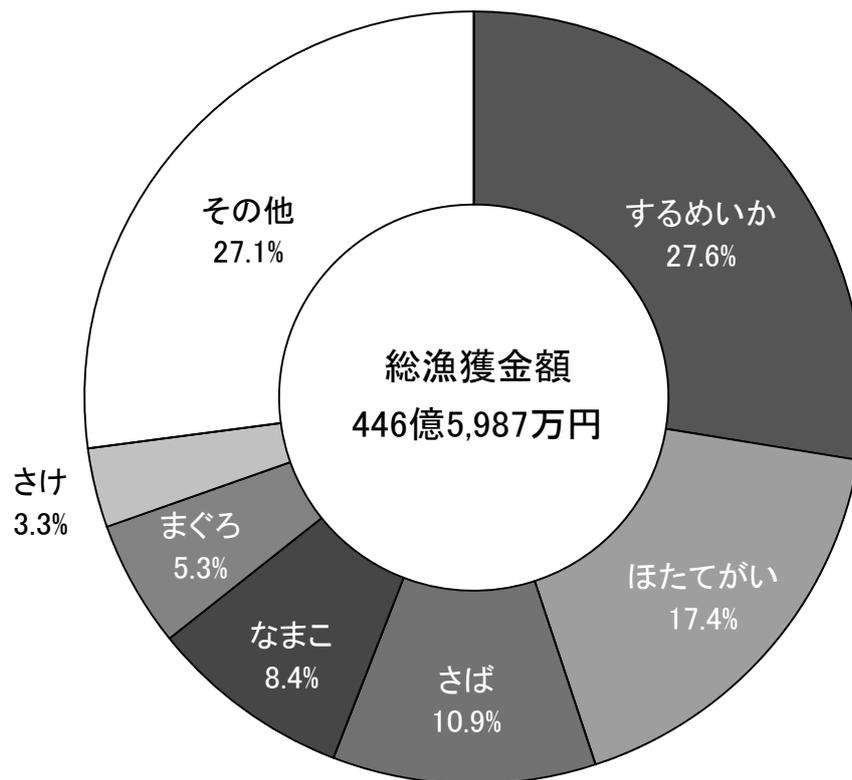


図7 主な魚種別漁獲金額の構成比

4. 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 漁業種類別漁獲数量

主な漁業種類別の漁獲数量及び構成比をみると、「まき網漁業」が52,787トン（構成比28.4%）で最も多く、次いで「養殖業」51,181トン（27.5%）、「いか釣漁業」30,511トン（16.4%）となっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な漁業種類及び増加数量は「小型定置網漁業」1,907トン（対前年増加率24.4%）、「沖合底曳網漁業」1,768トン（10.1%）、「小型機船底曳網漁業」1,123トン（51.8%）などとなっている。

一方、漁獲数量が減少した主な漁業種類及び減少数量は、「養殖業」24,858トン（対前年減少率32.7%）、「まき網漁業」11,603トン（18.0%）「いか釣漁業」9,068トン（22.9%）などとなっている（第9表）。

(2) 漁業種類別漁獲金額

主な漁業種類別の漁獲金額及び構成比をみると、「いか釣漁業」が105億4,026万円（構成比23.6%）で最も多く、次いで「養殖業」75億7,095万円（17.0%）、「まき網漁業」61億5,316万円（13.8%）となっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な漁業種類及び増加金額は、「沖合底曳網漁業」3億5,890万円（対前年増加率10.0%）、「刺網漁業」3億1,149万円（14.0%）「小型機船底曳網漁業」3億5,089万円（23.2%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な漁業種類及び減少金額は、「養殖業」8億3,556万円（対前年減少率9.9%）、「採藻漁業」5億1,542万円（46.0%）、「大型定置網漁業」3億9,679万円（28.7%）などとなっている（第10表）。

5. 市町村別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 市町村別漁獲数量

市町村別漁獲数量の構成比をみると、八戸市が 96,278 トンで最も多く全体の 51.8%を占め、次いで平内町 13.4%、むつ市 5.2%、外ヶ浜町 4.3%、東通村 4.3%の順となっている。

これを前年と比較してみると、漁獲数量が増加したのは、野辺地町 749 トン（対前年増加率 25.9%）、階上町 360 トン（40.1%）、鯹ヶ沢町 357 トン（37.7%）、おいらせ町 22 トン（3.3%）の 4 町となっている。

一方、漁獲数量が減少した市町村は、八戸市 15,486 トン（対前年減少率 13.9%）、平内町 11,922 トン（32.4%）ほか 16 市町村となっている（図 8、第 11 表）。

(2) 市町村別漁獲金額

市町村別漁獲金額の構成比をみると、八戸市が 183 億 8,242 万円で最も多く全体の 41.2%を占め、次いで平内町 11.2%、むつ市 7.7%、東通村 6.5%、深浦町 5.1%の順となっている。

これを前年と比較してみると、漁獲金額が増加した市町村は、八戸市 8 億 837 万円（対前年増加率 4.6%）、むつ市 3 億 1,042 万円（9.9%）、野辺地町 2 億 3,121 万円（33.5%）、平内町 2 億 1,796 万円（4.5%）ほか 6 市町村となっている。

一方、漁獲金額が減少した市町村は、六ヶ所村 3 億 6,378 万円（対前年減少率 25.6%）、青森市 3 億 5,873 万円（24.9%）、大間町 2 億 1,842 万円（11.8%）ほか 9 市町村となっている（図 9、第 12 表）。

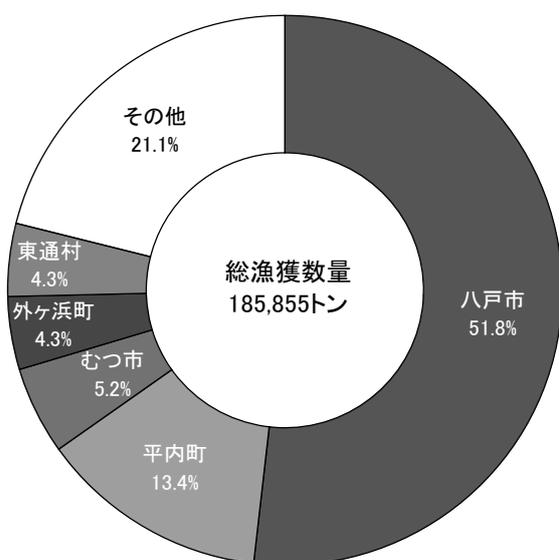


図 8 市町村別漁獲数量の構成比

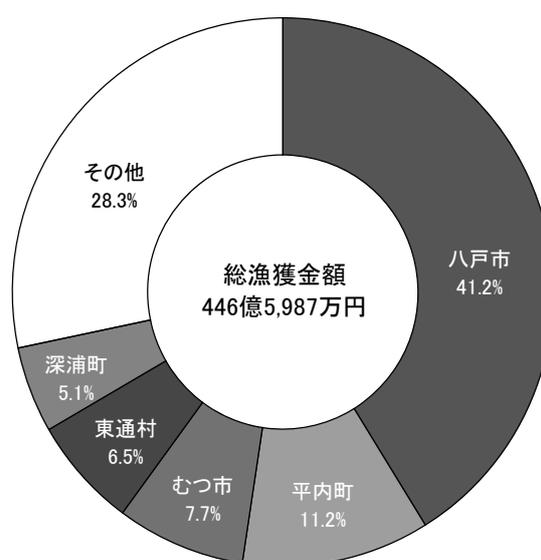


図 9 市町村別漁獲金額の構成比